

令和5年度 アート選奨K基金事業

実施概要 磯田憲一氏からの指定寄附を基に、本道の文化の振興発展にとって「敬愛」すべき役割を果たしたと認められる個人または団体を対象にアート選奨K基金賞を贈呈した。

<p>内 容</p>	<p>令和5年度アート選奨K基金賞 受賞者</p> <table border="1" data-bbox="356 496 1977 1299"> <tr> <td data-bbox="358 497 510 568"> <p>団体名</p> </td> <td data-bbox="510 497 1975 568"> <p>株式会社亜璃西社（札幌）</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="358 568 510 1297"> <p>略 歴</p> </td> <td data-bbox="510 568 1975 1297"> <p>1988年（昭和63）、道内でベストセラーとなった『札幌青春街図』や『さっぽろ食べたい読本』の編著者で、編集プロダクション「プロジェクトハウス亜璃西」代表の和田由美が創業。出版と編集プロダクションの両輪で、30年以上にわたり地元に着した出版活動を続けている。</p> <p>主に北海道に題材を求めた図鑑やガイドブック、歴史書など幅広いジャンルの書籍を刊行。代表的な書籍に、『北海道樹木図鑑』（累計30万部）『さっぽろ野鳥観察手帖』などの自然図鑑、『北海道の歴史がわかる本』『札幌の地名がわかる本』などの歴史読本、故堀淳一さんの記念碑的三部作『地図の中の札幌』『地図の中の鉄路』『地図の中の廃線』、サブカルチャーを記録する『さっぽろ喫茶店グラフィティ』などのグラフィティ・シリーズ、年度版『北海道キャンプ場ガイド』（累計25万部）などのガイドブック、そのほかエッセイ、評論、詩集など幅広いジャンルの書籍を出版している。</p> <p>このほか、企業・団体の社史編纂の編集に多数参加しているほか、各紙誌の記事で企画立案から取材・執筆までを手がけている。</p> <p>〈刊行書受賞歴〉</p> <p>2006年 第12回 林白言文学賞『人生、ときどきシェイクスピア』（酒井良一 著）</p> <p>2007年 北海道新聞文学賞〈詩部門〉『砂浜についてのいくつかの考察と葬られた犬の物語』（荒木 元 著）</p> <p>2009年 サムライジャパン野球文学賞〈特別賞〉『監獄ベースボール』（成田智志 著）</p> <p>2017年 北海道新聞文学賞〈創作部門〉『通天閣の消えた町』（沓澤久里 著）</p> </td> </tr> </table>	<p>団体名</p>	<p>株式会社亜璃西社（札幌）</p>	<p>略 歴</p>	<p>1988年（昭和63）、道内でベストセラーとなった『札幌青春街図』や『さっぽろ食べたい読本』の編著者で、編集プロダクション「プロジェクトハウス亜璃西」代表の和田由美が創業。出版と編集プロダクションの両輪で、30年以上にわたり地元に着した出版活動を続けている。</p> <p>主に北海道に題材を求めた図鑑やガイドブック、歴史書など幅広いジャンルの書籍を刊行。代表的な書籍に、『北海道樹木図鑑』（累計30万部）『さっぽろ野鳥観察手帖』などの自然図鑑、『北海道の歴史がわかる本』『札幌の地名がわかる本』などの歴史読本、故堀淳一さんの記念碑的三部作『地図の中の札幌』『地図の中の鉄路』『地図の中の廃線』、サブカルチャーを記録する『さっぽろ喫茶店グラフィティ』などのグラフィティ・シリーズ、年度版『北海道キャンプ場ガイド』（累計25万部）などのガイドブック、そのほかエッセイ、評論、詩集など幅広いジャンルの書籍を出版している。</p> <p>このほか、企業・団体の社史編纂の編集に多数参加しているほか、各紙誌の記事で企画立案から取材・執筆までを手がけている。</p> <p>〈刊行書受賞歴〉</p> <p>2006年 第12回 林白言文学賞『人生、ときどきシェイクスピア』（酒井良一 著）</p> <p>2007年 北海道新聞文学賞〈詩部門〉『砂浜についてのいくつかの考察と葬られた犬の物語』（荒木 元 著）</p> <p>2009年 サムライジャパン野球文学賞〈特別賞〉『監獄ベースボール』（成田智志 著）</p> <p>2017年 北海道新聞文学賞〈創作部門〉『通天閣の消えた町』（沓澤久里 著）</p>
<p>団体名</p>	<p>株式会社亜璃西社（札幌）</p>				
<p>略 歴</p>	<p>1988年（昭和63）、道内でベストセラーとなった『札幌青春街図』や『さっぽろ食べたい読本』の編著者で、編集プロダクション「プロジェクトハウス亜璃西」代表の和田由美が創業。出版と編集プロダクションの両輪で、30年以上にわたり地元に着した出版活動を続けている。</p> <p>主に北海道に題材を求めた図鑑やガイドブック、歴史書など幅広いジャンルの書籍を刊行。代表的な書籍に、『北海道樹木図鑑』（累計30万部）『さっぽろ野鳥観察手帖』などの自然図鑑、『北海道の歴史がわかる本』『札幌の地名がわかる本』などの歴史読本、故堀淳一さんの記念碑的三部作『地図の中の札幌』『地図の中の鉄路』『地図の中の廃線』、サブカルチャーを記録する『さっぽろ喫茶店グラフィティ』などのグラフィティ・シリーズ、年度版『北海道キャンプ場ガイド』（累計25万部）などのガイドブック、そのほかエッセイ、評論、詩集など幅広いジャンルの書籍を出版している。</p> <p>このほか、企業・団体の社史編纂の編集に多数参加しているほか、各紙誌の記事で企画立案から取材・執筆までを手がけている。</p> <p>〈刊行書受賞歴〉</p> <p>2006年 第12回 林白言文学賞『人生、ときどきシェイクスピア』（酒井良一 著）</p> <p>2007年 北海道新聞文学賞〈詩部門〉『砂浜についてのいくつかの考察と葬られた犬の物語』（荒木 元 著）</p> <p>2009年 サムライジャパン野球文学賞〈特別賞〉『監獄ベースボール』（成田智志 著）</p> <p>2017年 北海道新聞文学賞〈創作部門〉『通天閣の消えた町』（沓澤久里 著）</p>				